

平成 30年 07月 09日

国土交通大臣 殿

地域型住宅グリーン化事業 適用申請書
【平成30年度】

本申請書の内容により、地域型住宅グリーン化事業の適用を申請します。
この申請書及び添付資料に記載の事項は、事実と相違ありません。

地域型住宅の名称

遠州 木づなの家

グループの名称

ブルーブリッジプロジェクト普及促進会

直近採択グループ番号

06-0513-0420

(グループ代表者)

代表者名

福代 将

代表者印

代表者所属先

福代工務店

代表者所在地

静岡県御前崎市新野1824

代表者電話番号

0537-86-3658

(グループ事務局)

事務局事業者名

株式会社ナカモク

事務局担当者名

中山 涼

印

事務局郵便番号

437-1604

事務局所在地

静岡県御前崎市佐倉

事務局電話番号

0537-85-2041

事務局FAX

0537-85-2241

事務局担当者E-mail

fukushima@naka-moku.co.jp

B. 平成30年度における補助対象の木造住宅 の申請要望戸数、地域材加算要望戸数、 三世代同居対応加算要望戸数(必須)	長寿命型	長期優良住宅	経験工務店(4戸(8戸)以上)の申請戸数	今年度要望する戸数(上限100万円)		12	戸					
				加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)	12	戸					
					上記の内、三世代同居加算を要望(上限30万円)	0	戸					
				その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限100万円)		4	戸					
				加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	4	戸					
					上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)	0	戸					
	長寿命型	長期優良住宅	未経験工務店(3戸(7戸)以下)の申請戸数	今年度要望する戸数(上限110万円)		15	戸					
				加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)	15	戸					
					上記の内、三世代同居加算を要望(上限30万円)	0	戸					
				その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限110万円)		3	戸					
				加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	3	戸					
					上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)	0	戸					
	高度省エネ型	認定低炭素住宅	経験工務店(4戸(8戸)以上)の申請戸数	今年度要望する戸数(上限100万円)		2	戸					
				加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)	2	戸					
					上記の内、三世代同居加算を要望(上限30万円)	0	戸					
				その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限100万円)		1	戸					
				加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	1	戸					
					上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)	0	戸					
		高度省エネ型	認定低炭素住宅	未経験工務店(3戸(7戸)以下)の申請戸数	今年度要望する戸数(上限110万円)		3	戸				
					加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)	3	戸				
						上記の内、三世代同居加算を要望(上限30万円)	0	戸				
					その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限110万円)		1	戸				
					加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	1	戸				
						上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)	0	戸				
高度省エネ型	性能向上計画認定住宅	経験工務店(4戸(8戸)以上)の申請戸数	今年度要望する戸数(上限100万円)		2	戸						
			加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)	2	戸						
				上記の内、三世代同居加算を要望(上限30万円)	1	戸						
			その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限100万円)		1	戸						
			加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	1	戸						
				上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)	1	戸						
	高度省エネ型	性能向上計画認定住宅	未経験工務店(3戸(7戸)以下)の申請戸数	今年度要望する戸数(上限110万円)		3	戸					
				加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)	3	戸					
					上記の内、三世代同居加算を要望(上限30万円)	0	戸					
				その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限110万円)		1	戸					
				加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	1	戸					
					上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)	0	戸					
高度省エネ型	ゼロ・エネルギー住宅	経験工務店(4戸(8戸)以上)による申請戸数	今年度要望する戸数(上限125万円)		2	戸						
			加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)	2	戸						
				上記の内、三世代同居加算を要望(上限30万円)	1	戸						
			その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限125万円)		1	戸						
			加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	1	戸						
				上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)	0	戸						
高度省エネ型	ゼロ・エネルギー住宅	未経験工務店(3戸(7戸)以下)による申請戸数	今年度要望する戸数(上限140万円)		10	戸						
			加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)	10	戸						
				上記の内、三世代同居加算を要望(上限30万円)	0	戸						
			その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限140万円)		2	戸						
			加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	2	戸						
				上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)	0	戸						
C. 平成30年度当初予算における補助対象の優良建築物の申請要望棟数及び床面積	優良建築物の申請棟数		今年度要望する棟数及び面積		0	棟						
				0	m ²							
				その内9月までに交付申請が確実にできる棟数及び面積		0		m ²				
D. 当提案が採択された場合の各住宅事業者における補助対象戸数の配分ルール(必須)	定期的に関係するセミナー・勉強会時に予定物件・確定物件等の状況を調査し公平に配分するが、未経験事業者(これまでの活用実績なし)の積極的な取り組みを促すため、優先的に配分する。											
E. 平成29年度の執行状況(必須)	長寿命型(長期優良住宅)											
	採択戸数		17	戸	交付申請戸数		16	戸	完了実績(竣工予定含む)戸数		5	戸
	高度省エネ型(認定低炭素住宅)											
	採択戸数		2	戸	交付申請戸数		2	戸	完了実績(竣工予定含む)戸数		1	戸
	高度省エネ型(性能向上計画認定住宅)											
	採択戸数		3	戸	交付申請戸数		3	戸	完了実績(竣工予定含む)戸数		1	戸
	高度省エネ型(ゼロ・エネルギー住宅)											
採択戸数		5	戸	交付申請戸数		5	戸	完了実績(竣工予定含む)戸数		1	戸	
優良建築物型												
採択棟数		0	棟	交付申請戸数		0	棟	完了実績(竣工予定含む)棟数		0	戸	
採択床面積		0	m ²	交付申請床面積		0	m ²	完了実績(竣工予定含む)床面積		0	m ²	

1. 地域型住宅の名称・対象地域（必須）	(地域型住宅の名称) 遠州 木づなの家	(地域型住宅供給対象地域) 静岡県内
2. グループの名称・結成年（必須）	(グループの名称) ブルーブリッジプロジェクト普及促進会	(結成年) 2014 年
3. 過去のグリーン化事業採択グループ番号（必須）	06-0513-0420	

4. 地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み ※記入した内容において「必ず実施する取組み」の場合は◎印、「グループが目指す目標」の場合は○印を右欄に記入してください。
※住宅と建築物（非住宅）の両方を申請する場合において、取組に違いがある場合は、その旨を具体的に記入してください。

ア. 特徴ある地域型住宅の目標設定

【平成30年度対応方針】		◎、○ 記入欄
①地域の気候・風土等に根差した地域型住宅の重視する性能	○活断層が多く存在し東南海地震の危険性があるため、耐震性能を重視する。（静岡県構造設計指針により基準法での耐力よりも割増した地域係数が採用されている。適切な建設省告示1460号金物の使用を確認する） ○白蟻被害が多くみられるため、土台・外壁の軸組等の耐久性（劣化対策）を重視する。（防蟻防蟻処理を行い、劣化対策 等級2以上とする）	◎
②地域の気候・風土等に根差した地域型住宅の建て方や様式	○河川下流域の軟弱地盤があるため、地盤調査を義務付け、事務局にて第三者機関による調査結果と改良方法の確認をする。	◎
③地域の気候・風土等に根差した地域型住宅のデザインルール	○地元天竜産の杉・桧は木肌が美しいため、内装材・床材・建具材の積極的な利用を推進する。 ○現場調査により日射・採光を計画し、自然光・自然風を活かした設計プランを提案する。	○
④①～③の背景	○静岡県中西部は温暖で過ごしやすい気候であり、日照率も日本有数に高い。一方で、平地と山間部では気候の差があり、その山間部には日本三大人工美林といわれる「天竜美林」を有する。天竜産の木材は「粘り強い」と言われるほど、油分を多く含みカンパをかけるだけで色艶がよく、輝くような光沢を放つという特徴がある。 ○静岡県は活断層が多く存在し長年将来の東南海地震の危険性が叫ばれ、高い防災意識を持つエリアである。 ○温暖地域で白蟻被害が多くみられる。	◎
⑤その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。	○上述のとおり静岡県中西部は日照率が高く、年間日射区分A4・A5区分の日射量が多い地域である。そこで自然エネルギーの積極的な利用として、経済性に優れた地域の特性を活かした太陽光発電の設置を推奨する。太陽光発電システムのメーカーとの協議によりコスト削減を行い、また発電量・光熱費シュミレーション等の住まい手側にメリットが伝わる資料を作成し、太陽光発電システムを中心とした省エネルギー住宅→ゼロエネルギー住宅の普及を推進する。また今後2019年より電力買取制度（FIT）満了を迎える消費者に対し、蓄電池を取り入れた自給自足可能な住宅を提案できる取組を行っている。	◎

イ. 効率的で適切な就業環境が確保された住宅生産体制の整備

【平成30年度対応方針】		◎、○ 記入欄
a		
①-1 用材の寸法規格化	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: ○土台・柱材は105mm角又は120mm角とし、モジュールピッチは910mmとする。それにより、資材の確保とコストダウンを図る。しかし、敷地状況や家族構成等の間取りによりやむを得ない場合は他モジュールピッチでも可とする。	◎
①-2 使用建材の統一	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: ○標準仕様に合わせて省エネ関連資材・設備、県産材内装仕上材の統一化を図り、大口購入・コストダウンを目指す。	○
①-3 標準仕様の設定	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: ○長寿型・高度省エネ型住宅の性能を担保するために、断熱材・サッシ・設備機器の標準仕様書を作成し、それに基づいた消費者に分かりやすい提案書を作成する。	◎
②-1 建材・資材調達の見直し	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: ○住宅における外皮計算・一次エネルギー計算に関係する商材を選定し、各メーカーからの共同仕入れを行うことでコストダウンを図る。	◎
②-2 調達事務の合理化	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: ○流通においても地域型住宅の仕様を確実に把握し、共通の発注書式・納品書式によって商材の納品を管理する。	○
③ 生産の合理化等に向けた検討委員会等の設置	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: ○事務局を中心として委員会を設置し、生産の合理化に向け標準仕様・統一建材の検討・意見交換会を行う。	◎
④ 生産の合理化等に向けて事務局が果たす役割	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: ○設計グループによる申請サポート（構造計算・長期優良住宅認定申請・外皮計算等）体制の強化を図り、未経験施工業者に対する取組を推進する。 ○施策制度情報の収集と構成員への周知を取り組む。	◎
b		
① グループの信頼性向上に向けた施工基準	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: ○事務局を中心に外部専門家を交えて標準施工書を作成する。	◎
② グループの信頼性向上に向けた検査ルール	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: ○上記標準仕様書に基づき特定の工程完了時にグループ内設計士による検査を行う。 ○検査報告書の原本をお施主様に、写しを事務局にて保管する。	○
③ グループの信頼性向上に向けた見積・積算のルール	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: ○消費者への住宅コストの見える化と適正な価格の提示を行うために、一式表示でなく仕様・性能・数量の分かりやすい見積書の作成を促す。	◎
④ グループの信頼性向上に向けたその他の具体的取組	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: ○ブルーブリッジプロジェクトのホームページにて、消費者へ「遠州 木づなの家」の内容公開を行い明確な仕様と、認知度の向上に努める。	◎
c		
① 週休2日制の導入の取組	<input checked="" type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> ある → 内容:	
② 技能や経験にふさわしい処遇の実現に向けた取組	<input checked="" type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> ある → 内容:	
③ 社会保険への加入	<input checked="" type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> ある → 内容:	
④ 安全及び健康の確保のための取組	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 工事現場における事故措置の対応や労災保険の加入を確認し、工事現場の安全対策や健康に関する意識啓発に努める。	○
その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。		

※) 行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。

1. 地域型住宅の名称・対象地域(必須)		(地域型住宅の名称) 遠州 木づなの家		(地域型住宅供給対象地域) 静岡県内		
2. グループの名称・結成年月(必須)		(グループの名称) ブルーブリッジプロジェクト普及促進会		(結成年) 2014 年		
3. 過去のブランド化事業採択グループ番号(必須)		06-0513-0420				
4. 地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み						
ウ. 長期にわたる住宅メンテナンス体制の整備						
【平成30年度対応方針】					◎、○ 記入欄	
a	① 住宅蓄積履歴情報の	①-1 内容・蓄積の共通ルール	<input type="checkbox"/> ない	<input checked="" type="checkbox"/> ある	内容: ○住宅情報(図面、設備図、仕様書、申請図書、構造計算書)、点検・補修情報、リフォーム情報を消費者・施工者・事務局と共有する。	◎
		①-2 情報サービス機関の活用	<input type="checkbox"/> ない	<input checked="" type="checkbox"/> ある	内容: ○住宅履歴情報サービス機関を利用し、情報の蓄積と共有を行う。	◎
		①-3 履歴情報蓄積の確認手法	<input type="checkbox"/> ない	<input checked="" type="checkbox"/> ある	内容: ○登録時住宅履歴情報サービス機関から発行される証明書の写しの提出を行う。その際、事務局にて登録内容の確認を行い不足がないようにする。	◎
	② メンテナンス基準	②-1 点検の共通ルール	<input type="checkbox"/> ない	<input checked="" type="checkbox"/> ある	内容: ○維持管理計画書の原案を推奨し、メンテナンス点検表に基づき点検を行う。	◎
		②-2 補修の共通ルール	<input type="checkbox"/> ない	<input checked="" type="checkbox"/> ある	内容: ○工事情報、工事後図面等を住宅履歴情報サービス機関に登録を行う。	◎
		②-3 点検補修実施の確認手法	<input type="checkbox"/> ない	<input checked="" type="checkbox"/> ある	内容: ○住宅履歴情報サービス機関の機能を利用して点検時期を事務局にて把握し、施工店に点検補修の実施を確認する。	○
	③ 住まいの管理	③-1 住まい管理勉強会の実施	<input type="checkbox"/> ない	<input checked="" type="checkbox"/> ある	内容: ○定期的に開催する勉強会内で住まいの管理についての勉強会を開催する。	◎
		③-2 DIY体験会等の実施	<input type="checkbox"/> ない	<input checked="" type="checkbox"/> ある	内容: ○年1回開催する感謝祭にて、地域・OBお施主様の子供向け木工教室を開催。また、防災関連商品、省エネ商品を展示し、お施主様の住宅への関心を高める。	◎
		③-3 その他の相談会等の実施	<input type="checkbox"/> ない	<input checked="" type="checkbox"/> ある	内容: ○年2回お施主様を対象にリフォーム相談会を開催し、住まいの現状を把握する。またメンテナンス方法等のセミナーの開催、資料等の配布を行う。	◎
	④ 維持管理委員会等の設置	<input type="checkbox"/> ない	<input checked="" type="checkbox"/> ある	内容: ○事務局を中心に施工グループ、設計グループで委員会を設置する。グループ共通点検表・維持管理計画書の作成、見直しを行う。	◎	
⑤ その他の維持管理の手法	<input type="checkbox"/> ない	<input checked="" type="checkbox"/> ある	内容: ○年1回お施主様を対象に感謝祭を実施する。消費者と施工店の結びつきを強くすることでより良い関係づくりの構築と住まいの維持管理の強化・継続を促す。	◎		
b	① グループ構成員の倒産廃業時のバックアップルール	<input type="checkbox"/> ない	<input checked="" type="checkbox"/> ある	内容: ○グループ構成員が廃業又は倒産した場合は、事務局にて代替継続事業者を斡旋し、住宅の維持管理体制を守る。	◎	
② 過去の瑕疵内容等に学ぶ勉強会の実施	<input type="checkbox"/> ない	<input checked="" type="checkbox"/> ある	内容: ○瑕疵担保保険法人から講師を招き、過去の事例等をもとに施工方法等の勉強会を施工・設計グループを中心に定期的に開催する。	◎		
その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。	○住宅履歴情報サービス機関から講師を呼び、未経験施工店が活用しやすいように勉強会を開催する。 ○事務局でのバックアップ体制を確立する。				◎	
エ. グループの技術力の向上						
【平成30年度対応方針】					◎、○ 記入欄	
a	① 未経験工務店等への施工技術研修会等の開催	<input type="checkbox"/> ない	<input checked="" type="checkbox"/> ある	内容: ○経験施工店・設計士を中心に長期優良住宅・ゼロエネルギー住宅の勉強会・現場見学会を開催し、未経験施工店が積極的に取り組めるような体制を作る。 ○仕様パンフレットを作成し、消費者へのアピールに活用する	◎	
	②-1 品質管理のための共通ルール	<input type="checkbox"/> ない	<input checked="" type="checkbox"/> ある	内容: ○設計通りの省エネ性能を確保するため省エネ講習等の施工マニュアルに沿って断熱工事を行う。	◎	
	②-2 上記共通ルールが守られていることの確認手法	<input type="checkbox"/> ない	<input checked="" type="checkbox"/> ある	内容: ○耐震性能・省エネ性能の検査項目ごとの写真を記録し、事務局にて確認する。	○	
	③-1 需給計画の策定	<input type="checkbox"/> ない	<input checked="" type="checkbox"/> ある	内容: ○勉強会・セミナー時に、随時提供予定の住宅の仕様・施工時期を調査し需給計画を立てる。その際、特に未経験施工店に対しては長期優良住宅・ゼロエネルギー住宅の提案を促す。	◎	
	③-2 技術力向上のための中長期的な計画	<input type="checkbox"/> ない	<input checked="" type="checkbox"/> ある	内容: ○全施工店が経験工務店となり施工店標準仕様として長期優良住宅・ゼロエネルギー住宅に取り組めるように技術力・知識力・提案力の向上を目指す。	◎	
	④ ③に基づく業種ごとの合理化の取組	<input type="checkbox"/> ない	<input checked="" type="checkbox"/> ある	内容: ○勉強会・研修会を開催し、事務局が相談窓口としての機能を持ち未経験工務店の支援を行う。 ○事務局・流通グループにおいて長期間での資材の安定供給・低コスト化に努める。	◎	
	b	①-1 省エネ技術講習会への施工事業者社員の参加人数	昨年度までの終了者数	35	今年度の参加目標人数	50
①-2 省エネ技術講習会への請負技能者等の参加人数	昨年度までの終了者数	13	今年度の参加目標人数	15	◎	
② 省エネ技術講習会への参加促進のための取組	<input type="checkbox"/> ない	<input checked="" type="checkbox"/> ある	内容: ○事務局にて講習会日程をホームページ・地域協議会様からの情報等で把握し、未受講施工店・設計士に随時案内を行い参加を促す。施工店・設計店全店各一人以上の講習会の参加を促す。	◎		
c	① 新たな技術等の導入	<input type="checkbox"/> ない	<input checked="" type="checkbox"/> ある	内容: 太陽光発電を中心に蓄電池システム・HEMSを導入したスマートハウスやスマートウェルネス住宅等の新技術の勉強会やメーカーモデルハウスでの研修会を行う	○	
② 新たな技術等の開発	<input checked="" type="checkbox"/> ない	<input type="checkbox"/> ある	内容:			
その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。	セミナー情報や国策情報等を施工・設計事業者を中心に、事務局が主体となってメールにて情報発信を行う				◎	

※) 行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。

1. 地域型住宅の名称・対象地域(必須)	(地域型住宅の名称) 遠州 木づなの家	(地域型住宅供給対象地域) 静岡県内													
2. グループの名称・結成年月(必須)	(グループの名称) ブルーブリッジプロジェクト普及促進会	(結成年) 2014 年													
3. 過去のブランド化事業採択グループ番号(必須)	06-0513-0420														
4. 地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み ※記入した内容において「必ず実施する取組み」の場合は◎印、「グループが目指す目標」の場合は○印を右欄に記入してください。 ※住宅と建築物(非住宅)の両方を申請する場合において、取組に違いがある場合は、その旨を具体的に記入してください。															
オ. 地域の産業・住文化・景観等への寄与															
【平成30年度対応方針】		◎、○ 記入欄													
a	地域材利用に関する ① 共通 ルール(必須)	土台、柱、梁材・桁材の主要構造材の100%に地域材を使用する。地域材とは静岡県産材、合法木材(国内・国外)とする。また、地元地域材の積極的な活用を推奨するため、主要構造材に静岡県産材の使用がない場合は、内装仕上材(床材、壁材、天井材)に県産材(床材、壁材、天井材)を施工面積10㎡以上に使用する。	◎												
	② 地域材利用の1棟当たりの割合(必須)	<input type="checkbox"/> 50%未満 <input type="checkbox"/> 50%以上 <input checked="" type="checkbox"/> 80%以上	◎												
	③ 標準的な地域材の使用部位(必須)	<table border="1"> <tr> <td>主要構造材</td> <td>土台: <input type="checkbox"/> 使用していない <input checked="" type="checkbox"/> 使用している</td> </tr> <tr> <td></td> <td>柱: <input type="checkbox"/> 使用していない <input checked="" type="checkbox"/> 使用している</td> </tr> <tr> <td></td> <td>梁・桁等の横架材等: <input type="checkbox"/> 使用していない <input checked="" type="checkbox"/> 使用している</td> </tr> <tr> <td>羽柄材</td> <td>間柱、根太、垂木等: <input checked="" type="checkbox"/> 使用していない <input type="checkbox"/> 使用している</td> </tr> <tr> <td>造作材</td> <td>枠材、廻縁等: <input checked="" type="checkbox"/> 使用していない <input type="checkbox"/> 使用している</td> </tr> <tr> <td>板材</td> <td>壁板、床板等: <input type="checkbox"/> 使用していない <input checked="" type="checkbox"/> 使用している</td> </tr> </table>	主要構造材	土台: <input type="checkbox"/> 使用していない <input checked="" type="checkbox"/> 使用している		柱: <input type="checkbox"/> 使用していない <input checked="" type="checkbox"/> 使用している		梁・桁等の横架材等: <input type="checkbox"/> 使用していない <input checked="" type="checkbox"/> 使用している	羽柄材	間柱、根太、垂木等: <input checked="" type="checkbox"/> 使用していない <input type="checkbox"/> 使用している	造作材	枠材、廻縁等: <input checked="" type="checkbox"/> 使用していない <input type="checkbox"/> 使用している	板材	壁板、床板等: <input type="checkbox"/> 使用していない <input checked="" type="checkbox"/> 使用している	◎
主要構造材	土台: <input type="checkbox"/> 使用していない <input checked="" type="checkbox"/> 使用している														
	柱: <input type="checkbox"/> 使用していない <input checked="" type="checkbox"/> 使用している														
	梁・桁等の横架材等: <input type="checkbox"/> 使用していない <input checked="" type="checkbox"/> 使用している														
羽柄材	間柱、根太、垂木等: <input checked="" type="checkbox"/> 使用していない <input type="checkbox"/> 使用している														
造作材	枠材、廻縁等: <input checked="" type="checkbox"/> 使用していない <input type="checkbox"/> 使用している														
板材	壁板、床板等: <input type="checkbox"/> 使用していない <input checked="" type="checkbox"/> 使用している														
	④ 地域材の流れ(フロー図)などグループの取組に関する補足説明	<p><静岡県産材>・静岡県産材認証制度 ・しずおか優良木材認証制度</p> <p><合法木材>・合法木材証明制度(国内・国外) ※合法木材の一部においては、産地・出荷者が特定できない場合がある。 このため当会に所属する構成員の出荷であれば合法性の証明により、代替えとする。</p>													
b	①-1 地域材在庫把握の仕組み	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 県産材(製材、仕上材)の流通業者において本地域型住宅分として常時一定量を在庫し、事務局にて在庫量を把握する。	◎												
	①-2 地域材価格の共有の仕組み	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 事前予測・在庫管理によって急速な地域材価格の変動を避ける。変動があった場合は、速やかに流通・施工店に通知し消費者に適切な価格の提示ができるようにする。	◎												
	② グループ全体における地域材の需給予測	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: 定例会や定期的に開催する勉強会時に施工業者の地域型住宅の予定物件数や施工予定時期を都度調査し、四半期程度の地域材の需要量を予測し、流通業者と在庫数量・供給可能量を確認し材料不足とならないよう万全の態勢をとる。	◎												
c	①-1 畳の活用	<input checked="" type="checkbox"/> 行っていない <input type="checkbox"/> 行っている → 内容:													
	①-2 和瓦の活用	<input checked="" type="checkbox"/> 行っていない <input type="checkbox"/> 行っている → 内容:													
	①-3 襖の活用	<input checked="" type="checkbox"/> 行っていない <input type="checkbox"/> 行っている → 内容:													
	①-4 障子の活用	<input checked="" type="checkbox"/> 行っていない <input type="checkbox"/> 行っている → 内容:													
	②-1 その他地域の伝統的な素材の活用	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: ○静岡県中西部掛川市の伝統産業「手織葛布」を内装仕上、襖貼り等への活用を推奨する	○												
	②-2 その他地域の伝統的な意匠の活用	<input checked="" type="checkbox"/> 行っていない <input type="checkbox"/> 行っている → 内容:													
d	① 地域の伝統的なデザインを継承する取組	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: ○地元天竜材を使った家具や格子の活用、提案を推奨する。	○												
	② 地域の住まい方の継承につながる取組	<input checked="" type="checkbox"/> 行っていない <input type="checkbox"/> 行っている → 内容:													
	③ 地域の街並み形成へ寄与する取組	<input checked="" type="checkbox"/> 行っていない <input type="checkbox"/> 行っている → 内容:													
	④ 和の住まいの要素を取入れた取組	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: ○軒や庇、すだれの活用といった、光の取り入れ方・遮り方の昔からの住まう工夫を取り入れた住まい作りを推奨する。	○												
その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。															
カ. その他															
【平成30年度対応方針】		◎、○ 記入欄													
東日本大震災の復興に資する取組	・被災地域の建築資材(合板等)を積極的に使用する。 ・防災に関するセミナーや、イベントでの防災関連展示を行う事で震災の記憶を風化させないように努める。		○												
平成28年熊本地震の復興に資する取組	・被災地域の建築資材(合板等)を積極的に使用する。 ・防災に関するセミナーや、イベントでの防災関連展示を行う事で震災の記憶を風化させないように努める。		○												

※) 行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。

1. 地域型住宅の名称・対象地域(必須)	(地域型住宅の名称) 遠州 木づなの家	(地域型住宅供給対象地域) 静岡県内
2. グループの名称・結成年月(必須)	(グループの名称) ブルーブリッジプロジェクト普及促進会	(結成年) 2014 年
3. 過去のブランド化事業採択グループ番号(必須)	06-0513-0420	

4. 地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み

キ. グループが取組む木造住宅・建築物の特徴
 ※この項目は、高度省エネ型、優良建築物型を申請するグループのみ記入してください。
 ※申請に係る認定低炭素住宅、性能向上計画認定住宅、ゼロ・エネルギー住宅、優良建築物の性能や特徴等について記入してください。

【「遠州 木づなの家」ゼロエネルギー住宅】

※タイプ VI (6地域)、タイプ VII (7地域)

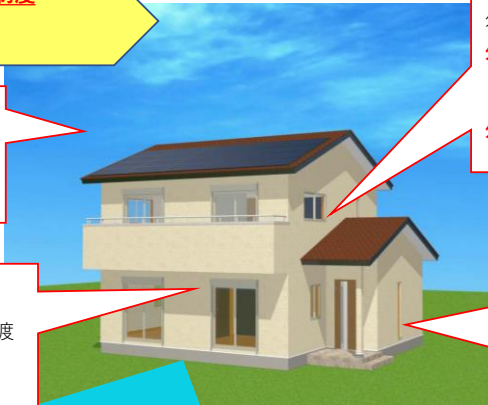
建築物省エネルギー性能表示制度
 (BELS) の評価を利用

太陽光発電の設置

太陽光発電によりエネルギーを創る

HEMS機器の設置

エネルギーの見える化によって引渡後も消費者の節電意識を高める。



床・外壁・天井(屋根)に充填or外張断熱施工
 高性能サッシ・ガラスの設置

外皮計算において、
外皮平均熱貫流率 0.55以下 (基準値0.60)

！ランクアップ！
外皮平均熱貫流率 0.50以下

省エネルギー機器の設置

主たる居室エアコン
 冷房効率区分 (い) を設置

一次エネルギー消費量計算において、
エネルギー削減率(R) 110%以上
エネルギー削減率(Ro) 25%以上
 (太陽光を除く)

となるようにする。

遠州 木づなの家 共通ルール

- ・土台 静岡県産材 (桧) or 合法木材 (国内・国外)
- ・柱 静岡県産材 (桧・杉) or 合法木材 (国内・国外)
- ・梁・桁 静岡県産材 (桧・杉) or 合法木材 (国内・国外)
- ・構造材で静岡県産材の使用がない場合、内装仕上材 (床材・壁材・天井材) で10㎡以上の県産材を使用
- ・防蟻処理 土台・外壁の軸組等 (劣化対策等級2相当)

【遠州 木づなの家 認定低炭素住宅・性能向上計画認定住宅】

省エネルギー機器の設置

エアコン、換気設備、給湯器、照明等、省エネルギーの設備を設置

《認定低炭素住宅基準》

省エネ法の省エネ基準に比べ一次エネルギー消費量 (家電等のエネルギー消費量を除く) が△10%以上となること



床・外壁・天井(屋根)に充填or外張断熱施工
 高性能サッシ・ガラスの設置

外皮計算において、
外皮平均熱貫流率 0.60以下 (基準値0.87)

となるようにする。

遠州 木づなの家 共通ルール

- ・土台 静岡県産材 (桧) or 合法木材 (国内・国外)
- ・柱 静岡県産材 (桧・杉) or 合法木材 (国内・国外)
- ・梁・桁 静岡県産材 (桧・杉) or 合法木材 (国内・国外)
- ・構造材で静岡県産材の使用がない場合、内装仕上材 (床材・壁材・天井材) で10㎡以上の県産材を使用
- ・防蟻処理 土台・外壁の軸組等 (劣化対策等級2相当)